

# 真室川小学校 河川愛護モニター通信

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。



川の曲がっているところは、土手がくずれやすくなると授業で習いました。河川事務所ではどんな対策をしているのですか？（真小6月の報告）



河川事務所では、つねに川の周辺をパトロールして、危ないところがないか見て回っています。主に下記のような対策をしていますよ！

## ①日常時のパトロール★



河川事務所では週に2～3回川の周辺をパトロールしながら、土手がけずられていないか・こわれている所がないかを見えています。

また、警察や消防団の方々と一緒にパトロールする時もあります。

特に注意が必要な場所の情報を共有することで、災害時にすばやく対応ができるようになります！



## ②大雨時のパトロール★

大雨で川の水が増えると、土手はくずれやすくなります。

大雨時は、現地できずれそうな場所がないかを確認し、情報を地元の人たちに発信します。



現場の被害を防ぐために、町の水防団に出動してもらう場合もあります。写真は、土手がくずれた場合を想定した訓練をしている様子です。

